

枚方市教職員組合と枚方市 PTA 協議会中学校部会 (会長会・母親情報交換委員会)との懇談会 議事録

日 時：2003年7月6日 14:00～16:00

場 所：組合会館

出席者： 組合 委員長、副委員長、書記長、他 計 名
市 P 協 市 P 協会長、中学校部会副会長、母親情報交換委員会部会長、
他 計 名

《開会挨拶》 枚方市教職員組合委員長

- ・ デフレ不況という状況が続いている。企業倒産，リストラ，勤務形態の変化など，先行きの見えない状況。学校の5日制が開始され，ゆとりができると思っていたが，逆にゆとりがなくなってきた。このような状況で，教職員が元気にならなければ，子ども達も元気にならない。子ども達が元気で明るく生活できるようにしていきたい。そのための取り組みを組合でも進めている。
- ・ 中学校部会との懇談会も昨年から年2回になった。できるだけ話し合いを多くして，できることを多くしていきたい。いろいろな意見をもらって，お互いにできることを持ち帰られればいいと思う。

《懇談会内容》 PTA 会員 教職組合員

1. クラブ活動について

昨年度から学習指導要領が変わった。それまでは特別活動にクラブ活動が含まれていた。部活動をクラブ活動に読み替えて，活動の保証を行ってきた。新要領からこのことが消えた。消えたということから，クラブ活動に対する教職員の義務が消えたと読み取れることもできる。また，学校週5日制への移行により，それまで授業時間が5日に凝縮されてしまった。授業時間の保障とうことで，4時まで授業時間があり，クラブ活動はその後になる。教師も仕事が遅くまで残っている。

クラブ活動は社会教育として捉えるべきものと考えている。小学校から入学してくる子ども達は，いつもクラブ活動をしたいという思いで進学してくる。子ども達の希望をかなえてやりたい。その思いで取り組んでいる。

学校の規模に応じて，10～30くらいのクラブが活動されている。顧問が配置され，活動が保障されている。実際には，少子化にともない部員が少なくなって，大会にも出られなくなっている。単独では出られなくなると，複数校での参加も認められてきている。

外部コーチについて。枚方市全体で59名の外部コーチが配置されている。顧問からコーチへの教育的な説明を行って，活動をしてもらっている。ただし，コーチによっては「勝ちたいこと・勝負優先」を優先する指導に向いてしまう場合もあるので，十分な話し合いを持って進めている。今後は3名以上の配置や予算を多くすることへの取り組みも行っている。

クラブ懇談・参観というのがある。これは希望があればできるのか。

学校によって違う。すでにやっているところもある。

校長，教頭に対して，クラブ懇談・参観がなぜないのかを聞き，要望すればよいのではないか。

学年の取り組みの中に組み込まれているので，システムになって当然のように行われている。

2日間のクラブ参観があるが，今年からは懇談を入れ，話をしたらいいと思う。

クラブ懇談については，組合からの統一的な指導はないのか。

学校ごとの取り組み。

楠西中ではクラブ参観・懇談はない。校長先生に要望していたが，「忘れていた」と言われた。再度お願いをして，快く2学期に実施していただくことになった。学校にお願いをすれば，やってもらえると思う。

働いている親が多いので，平日での参観は行きにくい。先生がせっかく開かれるのに参加しにくい。土曜日などで行うことができるか。やっているところがあるか。

授業参観に合わせてクラブ参観を実施した。見学されているのは数名。懇談まで残った人は少なかった。見学して安心する保護者が多かった。

生徒によっては，やる気に差がある。

昨年もクラブ活動についての話題があった。どうすれば，教師に負担をかけずにクラブ活動を続けることができるのか。例えば，保護者が協力できることはないか。

小学校で20年間サッカーを教えている。若い時はよかったが，仕事の関係もあって，なかなかしんどい状況になっている。それでも5分でも出かけるようにしている。先生も5分でもいいので，見に行つて欲しい。大変だと思うのだが，何とか時間を見つけてくれればと思う。

良い方法はない。現状ではまったくない。教師が土曜日に出ても1500円。出張旅費，昼食代もでない。ほとんどタダ働きの状況。ある少年野球（地域の活動）では，コーチへ昼食やお茶を出している。また，3000円の会費も支払われている。中学校ではお金がない（4～5万円/年）。

クラブの予算は生徒会費から出ている。市からは施設費として支給される。

保護者にも手伝いをもらっている。保護者会がある。地域にミニバスがあったので，これを利用している。問題は交通事故に対するリスク。同乗者保険で運用している。これは偶然そういう環境にあったからできたことである。

顧問が消えると部が消える。外部コーチがいても，大会参加には顧問が必要。保護者会が主になって運用しているところもある。外部コーチ制度が充実（人数制限，費用）する必要がある。保護者会主催のクラブ活動にできないか。現状の制度では限界がある。

PTAと組合から以下の要望（クラブ活動を活発にするために）をそれぞれして欲しい。

- 外部コーチの人数制限の緩和。予算のアップ。土日での大会参加への引率の制限緩和。どこに要望したらいいのか？

要望するならば，教育委員会の指導課ではあるが，いくつかの懸念がある。生徒にも思いがいろいろある。要望する前に今しなければならぬことは，各単位 PTA で学校と話し合うことだと思う。地域で行うのか，教育活動として行うのか。一人一人で受け止め方が違うので，各校でのディスカッションを深めるべきではないか。

外部コーチの費用，手当などについては，組合から要望もしていく。

2．生徒指導について

それぞれの学校で、生徒指導についての方針を決めている。細かなことなどは学年の先生方で話し合いを持っている。

3．危機管理について

緊急時の連絡。PTA（保護者）に伝わってこない。市Pとして連絡網（ホームページ）の試験運用をしている。夏休みをメドに立ち上げを計画している。書き込みについては制限をしているが、先生方でも見てもらえることができる。

4．地域教育協議会について

ブロック内に荒れている中学校があるという噂が流れている。小学校では私立に行かせることで塾通いが始まっている。情報提供は小学校にもして欲しい。

地域協で情報交換ができるのではないか。サダ中ではほとんどすべての先生が参加してもらっている。

大変荒れていた時代があった。その時の教師が、これではいかんと思い、取り組みが行われた。それがきっかけで、地域の方がたくさん来る。玄関横の生徒会の部屋が地域協の部屋に変わった。地域の方がしょっちゅう、たくさん来られる。最初は違和感があったが、今は当然のようになった。青指の活動も盛ん。地域の責任、学校の責任、保護者の責任がよく分担されている。いっしょになって、何とかして行こうという思いが大切。

5．その他

定期テストを2日間で行っている。原因は授業時間の確保。現場ではどうしようもない。

各教科の時間数を確保するには、980時間を守るだけではすまない。足りない教科時間を守るために、1000時間を越えることになる。

委員長

学校で仕事をしていることには責任を伴う。例えば、体罰があれば市ではなく、当事者の責任が問われ、訴えられる。これが保護者や生徒にも伝わって、逆に指導がしにくくなって、慎重になってきている。その結果、情報をすべて伝えられない状況になっている。

《閉会挨拶》 枚方市PTA協議会会長

保護者として、学校や教師に聞いてみたいことがある。そのときにどこに言って行くか。たとえば、何かにつけ校長室に行くことがある。行政に対して言いたいことはどこに持っていったらいいのかが分からない。最初の窓口は先生だと思う。保護者と先生との信頼関係が重要である。直接担任の先生と話をするようにして欲しい。そこから解決する糸口が見つかるような気がする。

組合との懇談会を行っている。できれば、組合の枠を離れて、先生との話ができるようにして欲しい。単Pでも、このような話し合いができるようになるように取り組んでほしい。